

◆特定共同研究（A）（研究期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画等のプロジェクトへの、全国の研究者の参加支援）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2018-A-01 (1509)	小原 一成	東京大学・地震研究所	企画部	プレート境界すべり現象モニタリングに基づくプレート間カップリングの解明	<a href="#">報告書</a>
2	2018-A-01 (1502)	安田 敦	東京大学・地震研究所	企画部	揮発性成分定量による活火山爆発力ポテンシャル評価とマグマ溜まり深度の再決定	<a href="#">報告書</a>
3	2018-A-01 (1202)	三浦 哲	東北大学・大学院理学研究科	企画部	蔵王山周辺の総合観測	<a href="#">報告書</a>
4	2018-A-02	末次 大輔	海洋研究開発機構・地球深部ダイナミクス研究分野	歌田 久司	地球深部の構造とダイナミクス	<a href="#">報告書</a>
5	2018-A-03	小原 一成	東京大学・地震研究所	田中 愛幸	スロー地震学	<a href="#">報告書</a>

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆特定共同研究(B) (研究期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(全国的な規模のグループが実施する、地震予知・噴火予知計画等の事業費に基づかないプロジェクトで将来事業化を目指す計画)

No.	課題番号	新規 継続	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2016-B-01	最終 年度	川勝 均	東京大学・地 震研究所	歌田 久司	太平洋アレイ (Pacific Array)	<a href="#">報告書</a>
2	2016-B-03	最終 年度	市原 美恵	東京大学・地 震研究所	市原 美恵	火山の空振モニタリング技術 の確立	<a href="#">報告書</a>
3	2016-B-04	最終 年度	田中 宏幸	東京大学・地 震研究所	田中 宏幸	グローバルミュオグラフィ ネットワークの構築 /Establishment of Global Muography Network	<a href="#">報告書</a>
4	2016-B-05	最終 年度	平賀 岳彦	東京大学・地 震研究所	平賀 岳彦	地殻・マントル物性を明らか にするための実験基準試料の 合成とその配布	<a href="#">報告書</a>
5	2016-B-07	最終 年度	波多野 恭弘	東京大学・地 震研究所	波多野 恭弘	地震断層の応力摂動に対する 鋭敏性:その素過程	<a href="#">報告書</a>
6	2016-B-08	最終 年度	名和 一成	産業技術総合 研究所・地質 調査総合セン ター	今西 祐一	重力測定技術の高度化と新技 術の活用による地球変動観測	<a href="#">報告書</a>
7	2016-B-09	最終 年度	松島 健	九州大学・大 学院理学研究 院	青木 陽介	GNSSを用いた大規模・稠密な 地殻変動キャンペーン観測研 究	<a href="#">報告書</a>
8	2016-B-11	最終 年度	伊藤 耕介	琉球大学・理 学部	福田 淳一	固体地球科学のシミュレー ションモデルと観測データに 適用可能なデータ同化法の開 発	<a href="#">報告書</a>
9	2016-B-12	最終 年度	新谷 昌人	東京大学・地 震研究所	新谷 昌人 福田 淳一	高精度ひずみ観測ネットワー クによる地殻活動モニター	<a href="#">報告書</a>
10	2017-B-01	継続	亀田 正治	東京農工大 学・工学部	市原 美恵	マグマ破壊シミュレーション 手法の開発	<a href="#">報告書</a>

No.	課題番号	新規 継続	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
11	2017-B-02	継続	林 直人	東京大学・医学部附属病院	田中 宏幸	医用画像コンピュータ自動検出/診断 (computer-assisted detection/diagnosis) 技術のミュオグラフィ画像解析への応用	<a href="#">報告書</a>
12	2017-B-04	継続	森島 邦博	名古屋大学・高等研究院	田中 宏幸	原子核乾板によるミュオグラフィ技術の高度化	<a href="#">報告書</a>
13	2017-B-05	継続	井上 邦雄	東北大学・ニュートリノ科学研究センター	田中 宏幸	ニュートリノの到来方向情報を持つ大型検出器による地球深部理解	<a href="#">報告書</a>
14	2017-B-06	継続	佐藤 比呂志	東京大学・地震研究所	佐藤 比呂志 石山 達也	沈み込み帯上盤プレートの変形モデルの構築	<a href="#">報告書</a>
15	2018-B-01	新規	吉田 健太	海洋研究開発機構・海洋掘削科学研究開発センター	長尾 大道	データ駆動型解析で推し進める変動帯ダイナミクス研究の深化	<a href="#">報告書</a>
16	2018-B-02	新規	高田 陽一郎	北海道大学・大学院理学研究院	青木 陽介	SARを用いた多角的な地殻・地表変動研究	<a href="#">報告書</a>
17	2018-B-03	新規	渡邊 学歩	山口大学・大学院理工学研究科	堀 宗朗	高性能計算を利用する統合地震シミュレーションの全国展開	<a href="#">報告書</a>
18	2018-B-04	新規	山本 真行	高知工科大学・システム工学群	今西 祐一	国内インフラサウンド稠密観測網の確立	<a href="#">報告書</a>

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆特定共同研究(C) (研究期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日)  
(地震研究所が特別に認めた、共同利用経費以外の資金によって運営される共同研究プロジェクト)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2018-C-01	木村 尚紀	防災科学技術研究所	酒井 慎一	首都圏地震観測網 (MeSO-net) を使った地震活動・プレート構造の研究	<a href="#">報告書</a>

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆一般共同研究（研究期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日）  
 （所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2018-G-01	中村 仁美	海洋研究開発機構・地球内部物質循環研究分野	鈴木 雄治郎 中井 俊一	地下水から探る桜島火山体の流体循環と地下構造	<a href="#">報告書</a>
2	2018-G-02	石橋 秀巳	静岡大学・理学部地球科学科	安田 敦	富士山の玄武岩質マグマの火道上昇中におけるマイクロライト成長過程の検討	<a href="#">報告書</a>
3	2018-G-03	上西 幸司	東京大学・大学院工学系研究科	亀 伸樹	亀裂群の集団的力学挙動と地震断層破壊のマルチスケール物理に関する理論・実験研究	<a href="#">報告書</a>
4	2018-G-04	鈴木 岳人	青山学院大学・理工学部物理・数理学科	亀 伸樹	自己相似性を持つ接触面上の巨視的滑り端伝播	<a href="#">報告書</a>
5	2018-G-05	小野 重明	海洋研究開発機構・海洋掘削科学研究開発センター	三部 賢治	炭酸塩鉱物の比抵抗変化の化学組成依存性に関するシステムティクス	<a href="#">報告書</a>
6	2018-G-06	山口 覚	大阪市立大学・大学院理学研究科	上嶋 誠	活断層下の電気比抵抗構造に基づいた活断層の活動性評価に関する研究ー同一断層系で地震活動度が大きく異なる断層セグメント間の比較からー	<a href="#">報告書</a>
7	2018-G-07	石原 靖	海洋研究開発機構・地震津波海域観測研究開発センター	竹内 希	南鳥島における広帯域地震観測：P波・S波から見る小笠原海台の高周波散乱特性の抽出	<a href="#">報告書</a>
8	2018-G-08	嶋野 岳人	常葉大学・大学院環境防災研究科	安田 敦	ラピリサイズのテフラ試料の定量的記載法の確立とデータ蓄積	<a href="#">報告書</a>
9	2018-G-09	村瀬 雅之	日本大学・文理学部地球科学科	青木 陽介	精密水準測量とキャンペーンGNSS観測による箱根火山浅部の圧力源と熱水活動の解明	<a href="#">報告書</a>

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
10	2018-G-10	小川 康雄	東京工業大学・理学院・火山流体研究センター	上嶋 誠	電磁アクロスの基礎実験	<a href="#">報告書</a>
11	2018-G-11	杉山 浩平	東京大学・大学院総合文化研究科グローバル地域研究機構	金子 隆之	富士山宝永噴火堆積物下の江戸時代須走村の復元的研究	<a href="#">報告書</a>
12	2018-G-12	鬼澤 真也	気象研究所・火山研究部	大久保 修平 今西 祐一 田中 愛幸	伊豆大島火山マグマ活動の解明に向けた精密重力観測	<a href="#">報告書</a>
13	2018-G-13	後藤 章夫	東北大学・東北アジア研究センター	平賀 岳彦	玄武岩質溶岩流の流動・変形特性の比較研究	<a href="#">報告書</a>
14	2018-G-14	藤 浩明	京都大学・大学院理学研究科	清水 久芳	地磁気永年変化のデータ同化	<a href="#">報告書</a>
15	2018-G-15	中東 和夫	東京海洋大学・学術研究院	蔵下 英司	離島臨時地震観測による豊後水道下のプレート形状推定	<a href="#">報告書</a>
16	2018-G-16	中西 一郎	京都大学・大学院理学研究科	西山 昭仁	「みんなで翻刻」ソフトを用いた地震研究所所蔵地震史料の調査・研究	<a href="#">報告書</a>
17	2018-G-17	長谷中 利昭	熊本大学・くまもと水循環・減災研究教育センター	安田 敦	阿蘇-5マグマの探求：メルト包有物によるカルデラ期と後カルデラ期の比較	<a href="#">報告書</a>

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆研究集会（研究期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日）  
 （全国の研究者が地震・火山関連分野のテーマについて集中的に討議する研究会）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催予定日	報告書
1	2018-W-01	利根川 貴志	海洋研究開発機構・地震津波海域観測研究開発センター	古村 孝志	広帯域波動現象とその時間変化の実態解明	平成30年9月10・11日	<a href="#">報告書</a>
2	2018-W-02	今井 健太郎	海洋研究開発機構・地震津波海域観測研究開発センター	佐竹 健治	巨大津波災害に関する合同研究集会	平成30年12月21・22日	<a href="#">報告書</a>
3	2018-W-03	小木曾 仁	気象庁気象研究所・地震津波研究部	鶴岡 弘	地震動のリアルタイム解析：防災・減災に向けた即時的な活用を目指して	平成31年1月10・11日	<a href="#">報告書</a>
4	2018-W-04	中村 美千彦	東北大学・大学院理学研究科	安田 敦	International Workshop on Pre-eruptive Magmatic Processes	平成30年5月25日	<a href="#">報告書</a>
5	2018-W-05	松本 聡	九州大学・大学院理学研究院	加藤 愛太郎 前田 拓人	超多点・稠密地震観測で迫る、地球内部活動・構造研究の新展開	平成30年9月7日	<a href="#">報告書</a>
6	2018-W-06	堀 高峰	海洋研究開発機構・地震津波海域観測研究開発センター	波多野 恭弘	数値・室内実験と観測データから探る地震活動の物理	平成31年2月5・6日	<a href="#">報告書</a>
7	2018-W-07	廣瀬 仁	神戸大学・都市安全研究センター	加藤 愛太郎 小原 一成	スロー地震の発生メカニズムを探る：観測・調査・実験・理論・モデリングからの情報の統合化と巨大地震との関連性の解明を目指して	平成30年9月21～23日	<a href="#">報告書</a>
8	2018-W-08	熊谷 一郎	明星大学・理工学部	市原 美恵	キッチン地球科学：手を動かして頭脳を刺激する実験	平成30年9月1・2日	<a href="#">報告書</a>

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催予定日	報告書
9	2018-W-09	鈴木 雄治郎	東京大学・地震研究所	鈴木 雄治郎	火山現象のダイナミクス・素過程研究	平成31年3月7日	<a href="#">報告書</a>
10	2018-W-10	山田 昌樹	東京大学・地震研究所	佐竹 健治	津波堆積物研究会	平成30年9月18～20日	<a href="#">報告書</a>
11	2018-W-11	松多 信尚	岡山大学・大学院教育学研究科	石山 達也	活断層のテクトニクスと長期的地震発生様式	平成30年12月25日	<a href="#">報告書</a>

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。



◆地震・火山噴火の解明と予測に関する公募研究（研究期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画のうち、「1. 地震・火山現象の解明のための研究」、「2. 地震・火山噴火の予測のための研究」に関連する新規研究課題）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	担当教員	研究課題	報告書
1	2018-Y- 内陸1	伊藤 高敏	東北大学・流体 科学研究所	継続	企画部	南アフリカ大深度金鉱山にお けるM5.5地震震源域の応力場 直接測定	<a href="#">報告書</a>
2	2018-Y- 火山1	川崎 一雄	富山大学・大学 院理工学研究部 (理学)	新規	企画部	白山火山の最近5000年間の噴 火履歴解明	<a href="#">報告書</a>
3	2018-Y- 火山2	佐藤 鋭一	神戸大学・大学 教育推進機構	新規	企画部	北海道中央部，大雪火山，御 鉢平カルデラ噴火を対象とし た噴火推移とマグマ供給系 の変遷の解明	<a href="#">報告書</a>
4	2018-Y- 火山3	和田 恵治	北海道教育大 学・旭川校 地 学研究室	新規	企画部	後屈斜路カルデラ期の摩周火 山及び中島火山の噴火履歴と マグマ供給系	<a href="#">報告書</a>
5	2018-Y- 火山4	大場 武	東海大学・理学 部	継続	企画部	地球化学的観測手法を用いた 箱根山等における熱水系の構 造解明，地震活動評価，およ び火山ガスの化学的連続観測 技術の高度化	<a href="#">報告書</a>
6	2018-Y- 火山5	楠本 成寿	富山大学・大学 院理工学研究部 (理学)	継続	企画部	富山県弥陀ヶ原火山・地獄谷 内での重力探査と地形および 地温計測による地熱・火山活 動のモニタリング	<a href="#">報告書</a>
7	2018-Y- 火山6	石崎 泰男	富山大学・大学 院理工学研究部 (理学)	継続	企画部	草津白根火山の完新世噴火履 歴解明（総括）	<a href="#">報告書</a>
8	2018-Y- 火山7	鹿児島 涉悟	東京大学・大気 海洋研究所	新規	企画部	北海道摩周における火山活動 の化学的調査	<a href="#">報告書</a>
9	2018-Y- 火山8	知北 和久	北海道大学・大 学院理学研究院	新規	企画部	火山性湖沼における地下熱水 流動系の解明：噴火予測への 新たな指標	<a href="#">報告書</a>
10	2018-Y- 火山9	伴 雅雄	山形大学・理学 部	新規	企画部	蔵王山、御釜を火口とする活 動の噴火推移の解明	<a href="#">報告書</a>
11	2018-Y- 先行1	児玉 哲哉	宇宙航空研究開 発機構・研究開 発部門 第一研 究ユニット	新規	企画部	地震先行VLF帯電磁波強度減 少研究のための超小型衛星の ブレットボードモデルの開発	<a href="#">報告書</a>

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	担当教員	研究課題	報告書
12	2018-Y- 先行2	織原 義明	東海大学・海洋 研究所	継続	企画部	宏観異常現象の検証-漁獲量 と地震との関係を中心に-	<a href="#">報告書</a>
13	2018-Y- 先行3	鴨川 仁	東京学芸大学・ 教育学部	継続	企画部	地震先行VLF帯電磁波強度減 少の統計的評価と発生メカニ ズムの解明	<a href="#">報告書</a>
14	2018-Y- 先行4	上田 誠也	東京大学・地震 研究所	継続	企画部	多種の地震活動度解析による 大地震先行的地震活動変動の 検知	<a href="#">報告書</a>
15	2018-Y- 史料・考 古1	蝦名 裕一	東北大学・災害 科学国際研究所	継続	企画部	「地震学及地理学研究材料報 告」に基づく歴史津波の痕跡 調査	<a href="#">報告書</a>
16	2018-Y- 史料・考 古2	橋本 雄太	国立歴史民俗博 物館	新規	企画部	歴史災害研究のオープンサイ エンス化に向けた検討	<a href="#">報告書</a>
17	2018-Y- 史料・考 古3	石辺 岳男	地震予知総合研 究振興会・地震 調査研究セン ター	新規	企画部	史料中の有感地震記録を用い た歴史地震研究の新展開	<a href="#">報告書</a>

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆高エネルギー素粒子地球物理学公募研究（研究期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日）  
 （高エネルギー素粒子地球物理学に関連する技術開発研究課題）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	担当教員	研究課題	報告書
1	2017-H-4	多米田 裕一郎	大阪電気通信 大学・工学部	継続	武多 昭道	汎用宇宙線計測用信号読出 電子回路の開発	<a href="#">報告書</a>
2	2018-H-1	田中 宏幸	東京大学・地 震研究所	新規	田中 宏幸	孔井内観測のための高解像 度小型ミュオグラフィ観測 装置の開発	<a href="#">報告書</a>
3	2018-H-2	谷川 智洋	東京大学・大 学院情報理工 学系研究科	新規	田中 宏幸	拡張現実の技術を応用した 効果的なミュオグラフィア ウトリーチ技術の開発	<a href="#">報告書</a>
4	2018-H-3	松島 潤	東京大学・大 学院工学系研 究科	新規	田中 宏幸	シミュレーション開発を通 じた石油・天然ガス探査 ミュオグラフィ勉強会の設 立	<a href="#">報告書</a>
5	2018-H-4	山崎 勝也	神奈川大学・ 工学部	新規	武多 昭道	ボアホール内ミュオン検 出器を用いた断層帯の密度 構造透視	<a href="#">報告書</a>

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。